

# ノーベル化学賞受賞者講演

細胞の中ではどのようなしくみで遺伝情報が読み取られ、タンパク質が作られているのでしょうか？  
ラマクリシュナン博士らはリボソームの立体構造を決定することで、この最も本質的で魅力的な謎を  
解き明かすことに成功した。ラマクリシュナン博士はノーベル賞受賞後も、この分野の第一人者として  
世界を牽引する研究成果を連発している。世界最大の化学メーカーであるBASFと工学系化学生命工学専攻が  
合同で主催するレクチャーシップに彼を招聘し、最新の研究成果について講演していただく。

**BASF**  
We create chemistry



## BASF - Univ. of Tokyo Innovation Lecture 2016

日時：2016年1月13日(水) 14:50～16:20

場所：工学部2号館213号講義室

問い合わせ先：工学系研究科化学生命工学専攻

[welcome@chembio.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:welcome@chembio.t.u-tokyo.ac.jp) <http://www.chembio.t.u-tokyo.ac.jp/>

※聴講無料。どなたでもご聴講いただけます。



背景 pdb:3J7Y Brown, A., Ramakrishnan, V. et al. 2014 Science

**1/13** Prof. V. Ramakrishnan (MRC)  
Nobel Prize in Chemistry 2009